

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）12月10日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19039
部門分類：130（工芸・特用作物）
発信者名：濱谷、竹若

滋賀県茶業青年が岐阜県白川町の有機栽培茶について学ぶ

11月29日、滋賀県茶生産青年協議会（以下、「茶青協」という。）が、岐阜県白川町で有機栽培茶を手がける切井茶生産組合とその有機栽培茶を取扱う茶商業者（株）白川園本舗への研修視察を行い、当課はその運営を支援しました。

この研修視察は、近年需要が増加している有機栽培茶に関する技術、経営、市場等について学ぶことを目的として開催し、当日は19名（生産者12名、関係機関7名）が参加しました。

最初に訪れた切井茶生産組合は、26戸の農家の参画のもと約1.5haの茶園を経営され、18年前から約70aで有機JAS認証を受けています。山間地であるため気温が低いことと、兼業農家が多いこと等から収穫が遅れ、市況の影響と品質の低下に伴い安値傾向になってしまうことが問題でした。そこで、少しでも高付加価値化し単価向上を図るために有機JAS認証取得の取組を続けておられます。しかし、近年では後継者不足が問題となっています。

次に訪れた（株）白川園本舗では、地域として白川町の茶産地を守るための取組とともに、有機栽培茶の輸出販売について話を伺いました、参加者から「後継者不足問題に対し地域全体で産地を守る取組が大事」「有機栽培茶の販売の仕方が参考になった」などの声があり、白川町の生産組合と茶商等による地域における取組と有機栽培茶の流通事情等について学ぶ研修となりました。

当課は、今後も経営向上に向けた茶青協の活動を支援していきます。



工場見学と概要説明の様子
（切井茶生産組合）



販売所見学と取組概要説明
（白川園本舗）